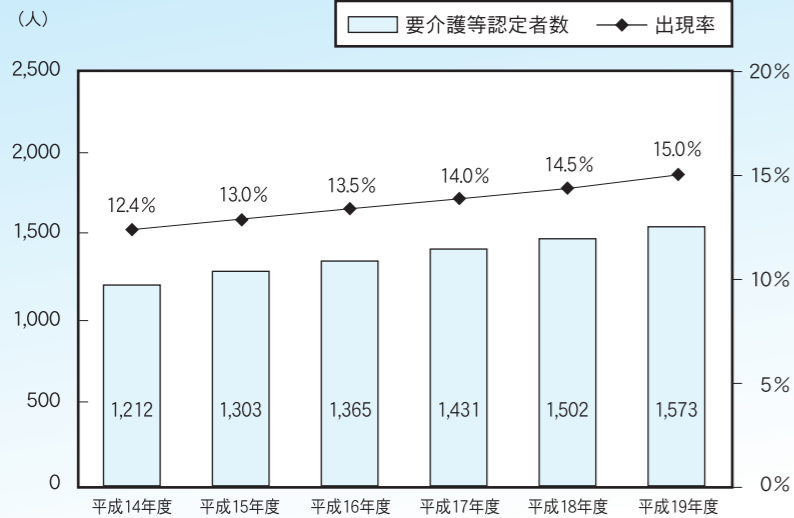


● 要介護等認定者数

増加を続け平成19年度には1,573人に

平成14年度の要介護等認定者数は1,212人であり、出現率（高齢者人口に占める要介護等認定者の割合）は12.4%となっています。平成15年度以降は増加を続け、平成19年度には1,573人（平成14年度よりも361人増）になると見込まれます。また、出現率も上昇し、平成19年度には15.0%になると見込まれます。

要介護等認定者と出現率の推計



※平成14年度は平成14年10月時点の数値、平成15年度以降は推計値

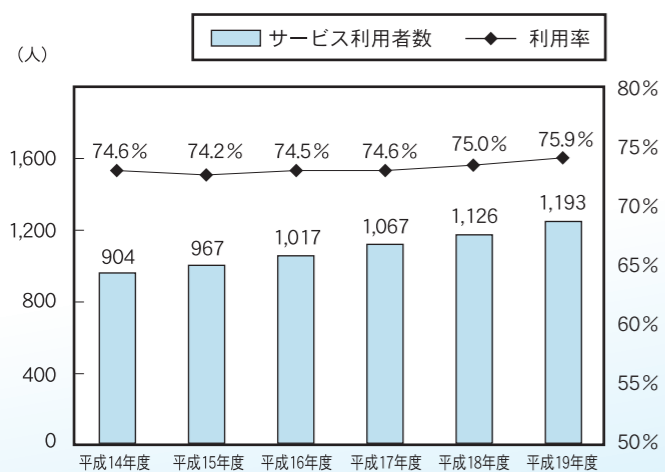


● 介護保険サービス利用者数

平成19年度には1,193人、利用率は75.9%に

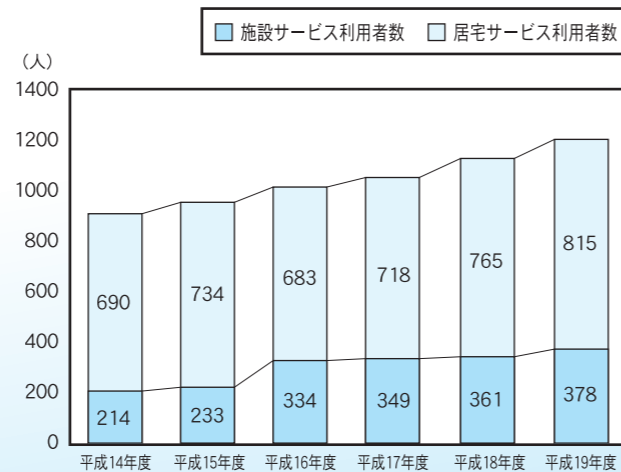
サービス利用者数（要介護等認定者のうちサービスを利用している人の数）は、制度開始当初の平成12年度時点では755人でしたが、平成14年度には904人に増加しています。特に、居宅サービス利用者では1.28倍となっています。利用率（要介護等認定者数に占めるサービス利用者数の割合）は、平成14年度時点で74.6%から平成19年度には75.9%になると見込まれます。

サービス利用者数と利用率の推計



※平成14年度は平成14年10月時点の数値、平成15年度以降は推計値

居宅・施設サービス利用者数の推計



介護保険料基準額は『2,628円』で据え置き

第2期白石市介護保険事業計画のあらまし

白石市では平成12年3月に、平成16年度を目標年次とする「第1期白石市介護保険事業計画」を策定し、介護保険事業の円滑な運営に努めてきました。計画策定から3年を経過し、市民の皆様のご意見などを踏まえ、平成15年度から19年度までの「第2期白石市介護保険事業計画」を策定いたしましたので、そのあらましをお知らせいたします。

I 計画の基本的方向

● 計画の理念と基本方針

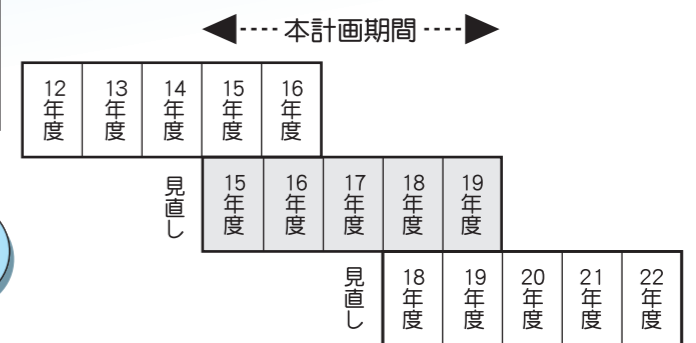
理念

生涯にわたり健康で生きがいを持ち、共に支えあい、こころ安らかな日々を送る生活の豊かさの実現

基本方針

- ①市民が健康を保ち、生きがいを持って、安心して暮らせるための基盤整備の推進
- ②介護が必要な状態でも、住みなれたまちで、尊厳を保ち、自立した生活を継続するためのサービスの充実
- ③市民一人ひとりが、共に支え合える地域社会の創出

● 計画期間



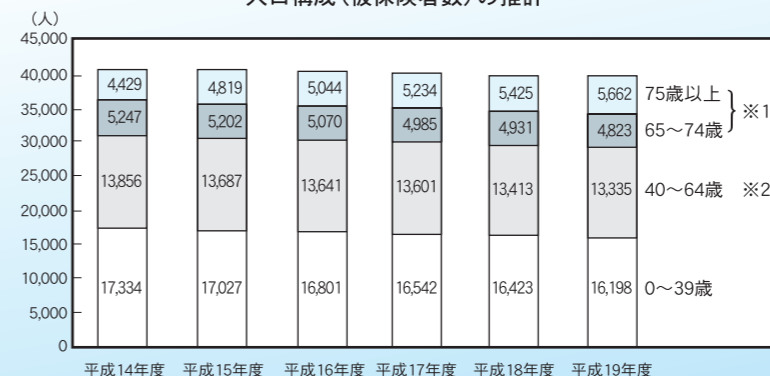
II 高齢者の現状と今後

● 白石市の人口構成

平成17年度には市民の4人に1人が高齢者に

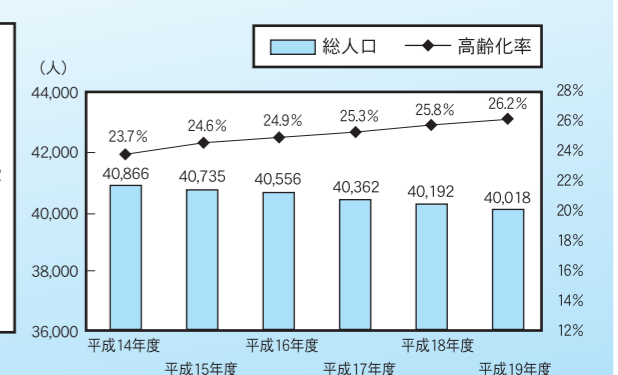
白石市の平成14年度現在の総人口は40,866人であり、高齢化率（総人口に占める65歳以上の高齢者数の割合）は23.7%となっています。平成15年度以降、人口は緩やかに減少する一方、高齢者数は増加を続け、高齢化率は、平成17年度には25%を超え、市民の4人に1人が高齢者になると見込まれます。

人口構成（被保険者数）の推計



※1 第1号被保険者、※2 第2号被保険者

総人口と高齢化率の推計



※平成14年度は平成14年10月時点の数値、平成15年度以降は推計値